

揖斐川流域のつながりを紡ぐことで 見えてくる“稔豊社会”



神田 浩史



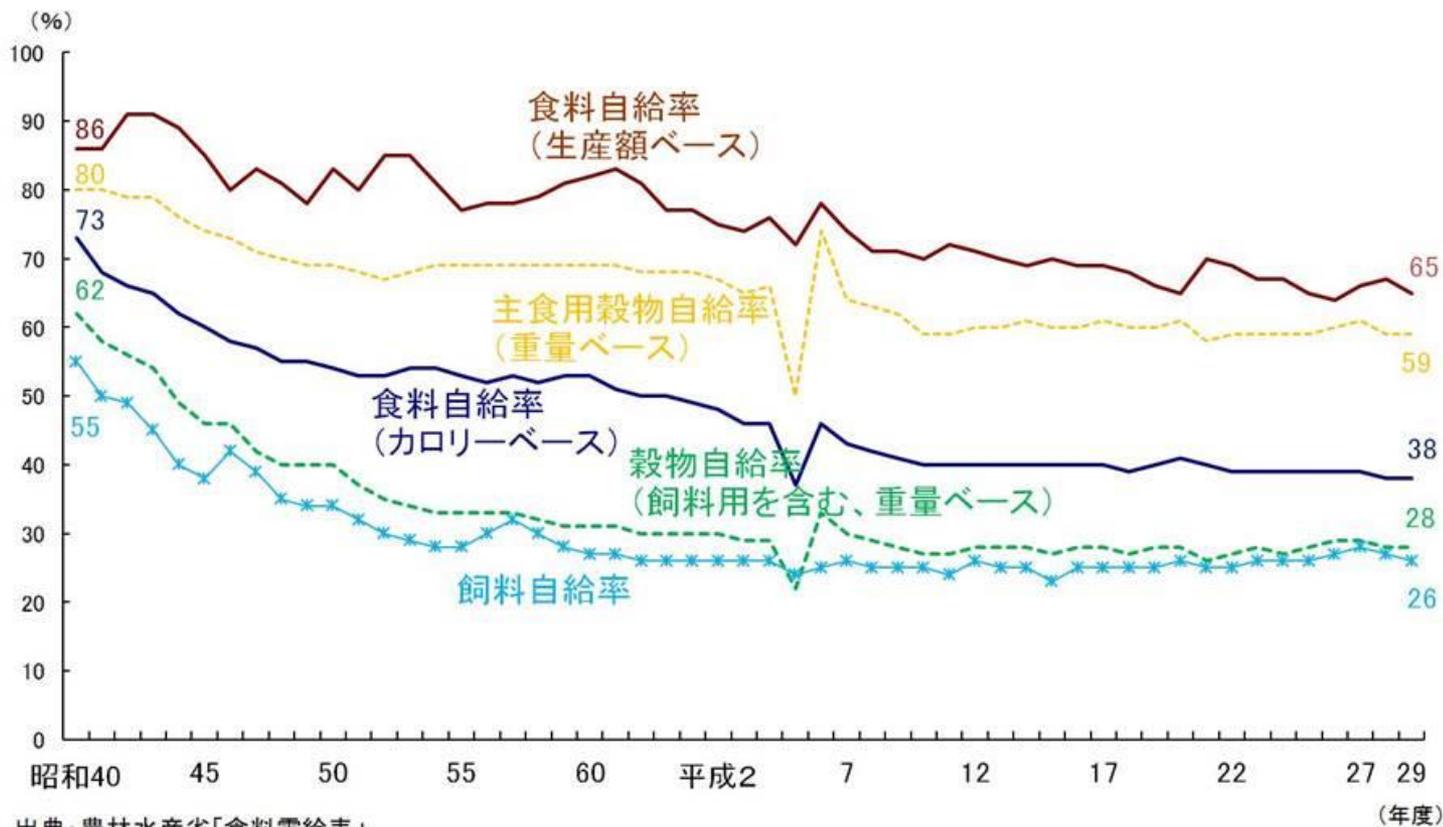
图 4-1 揖斐川流域概況図



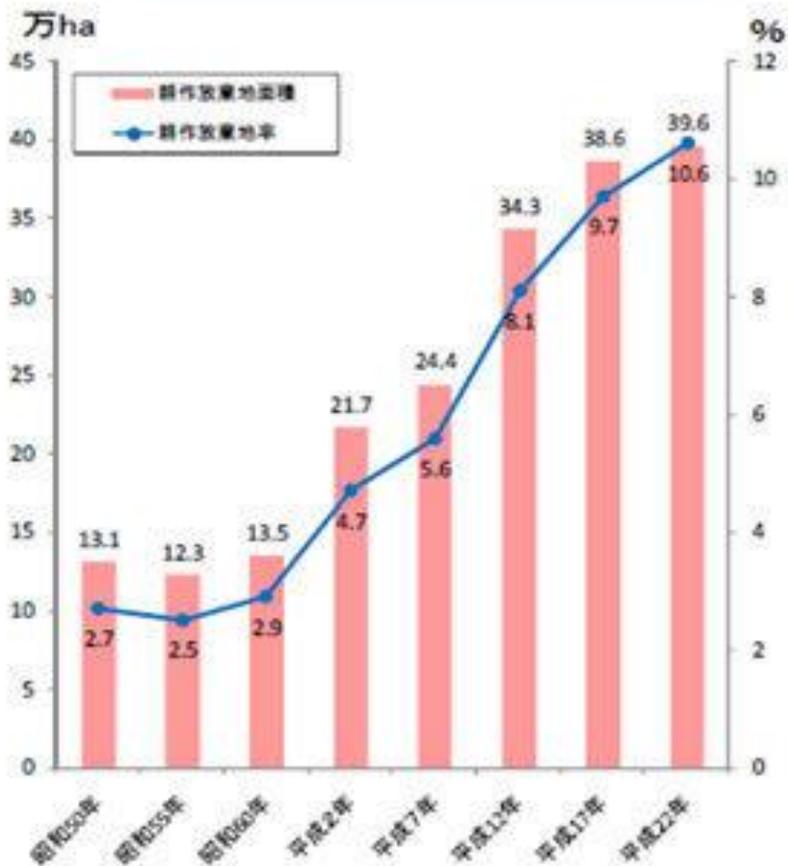
揖斐川の概要

- 岐阜県揖斐郡揖斐川町冠山が水源
(標高1257m)
- 一級水系・木曾川
- 延長121km
- 平均流量 $84.28\text{m}^3/\text{s}$
(万石観測所1961～2004年)
- 流域面積 1840km^2
- 河口 伊勢湾(三重県桑名市)
- 流域の自治体
 - 岐阜県西南部
 - 三重県西端
 - 滋賀県東端(一部、支流)

食料自給率と穀物自給率



耕作放棄地面積の推移

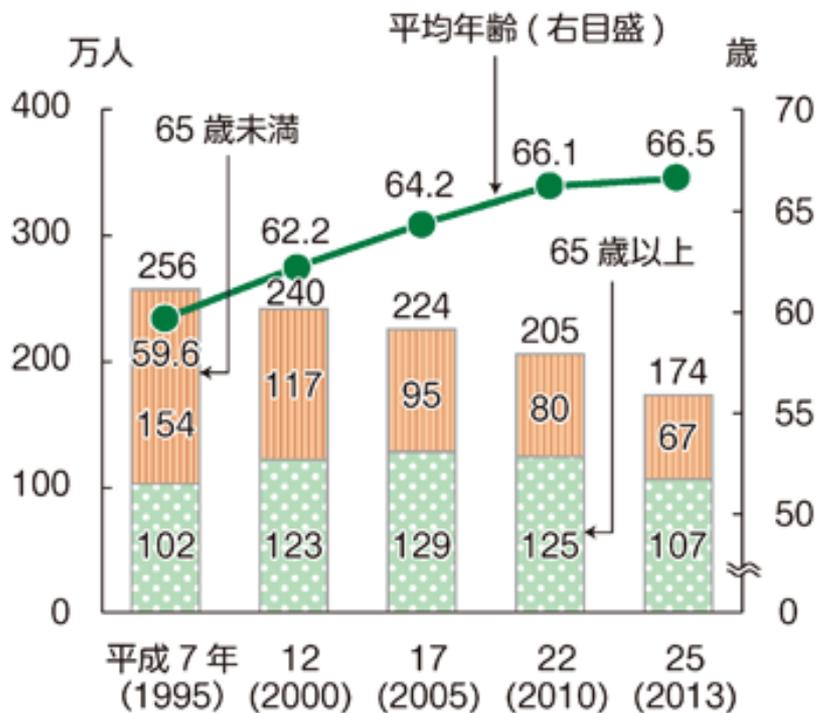


資料：農林水産省「農林業センサス」

注：耕作放棄地面積率は、
耕作放棄地面積 ÷ (経営耕地面積 + 耕作放棄地面積) × 100

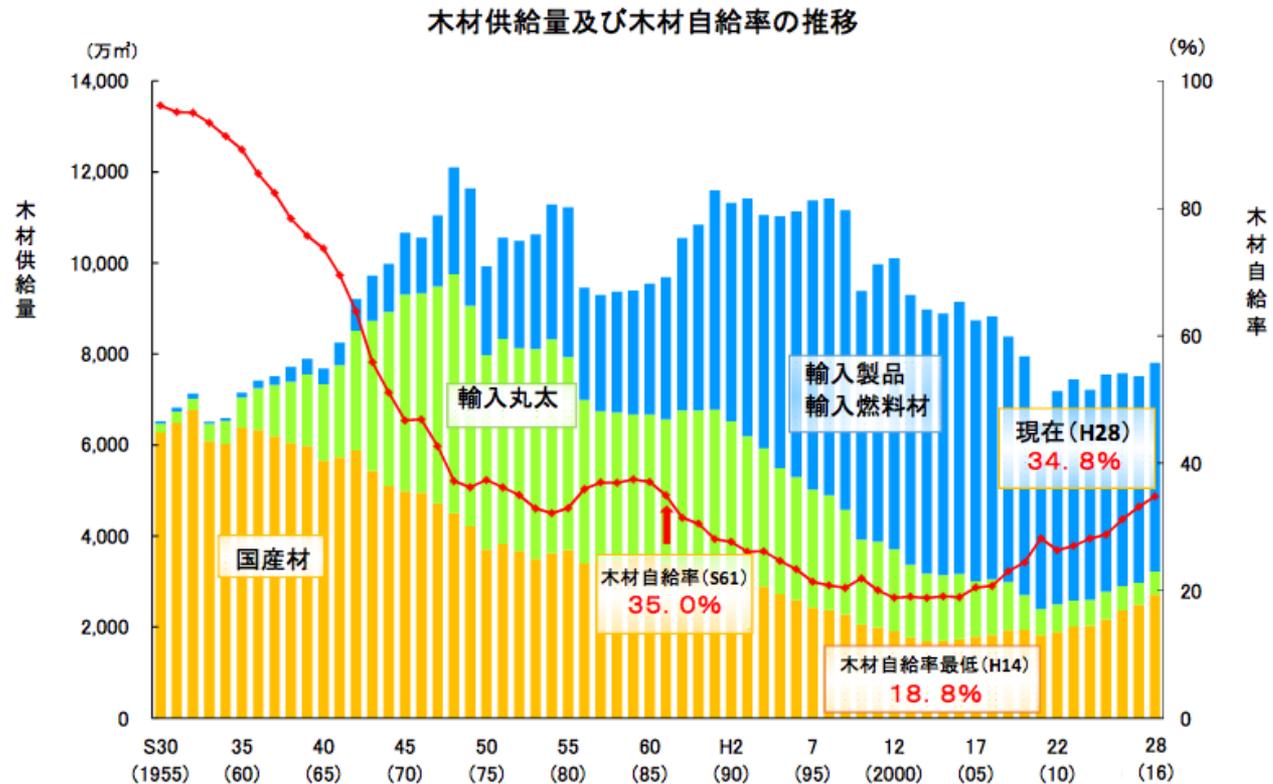
基幹的農業従事者数と平均年齢の推移

図2-1-20 基幹的農業従事者数等の推移



資料：農林水産省「農林業センサス」、「農業構造動態調査」

木材供給量と木材自給率

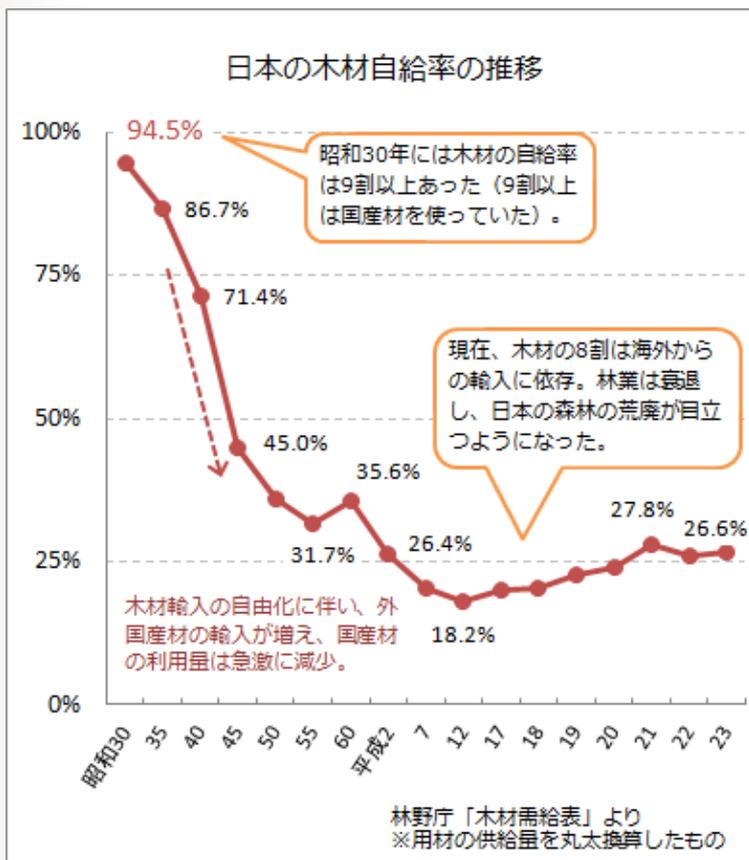


森林伐採と水環境（海外編）



- 皆伐することによる水環境への大きな影響
- 水環境の変動が大きい熱帯地方では洪水と渇水が頻発するケースも

日本の林業



森林伐採と水環境（国内編）



- 上流域の森林の手入れが行き届かなく
- 森林の“緑のダム”機能の低下と中下流への影響

2002年の大垣市水害



つながりを知る

- 上流域の森林の回復⇒木材輸入の見直し⇒海外の森林の保持・保全
- 中流域の田畑の活用⇒食料自給率の向上⇒海外からの食料輸入の低減
- 下流域の漁場、工場の維持⇒海外の沿岸・海洋保全や搾取労働の軽減
- 同時に、私たちの暮らす流域の循環型社会の回復＝穏豊社会の実現へ

泉京・垂井の活動の一例①

フェアトレード & 地産地消



泉京・垂井の活動の一例②

里山インキュベーターいびがわ



泉京・垂井の活動の一例③

揖斐川流域ESD拠点づくり





グローバルな課題と重ねてみると

- 荒廃する森林と暴れる河川
- 耕作放棄の広がる水田
- 流出していく企業、倒産する企業
- 農林漁業の衰退から崩壊へ
- 土石流などの自然災害の増大
- 流域材活用への動き
- 地産地消・食育の強化
- 特色ある漁業の復活
- 里山移住・起業・継業の点在
- 穏やかで豊かな＝穏豊<オンポウ>な社会、暮らしを目指して



つながりをつむぐ

- 揖斐川流域に点在する穏豊かな試み
- Iターン、Jターン、UターンによるIJUも
- 研修・交流事業、移住・起業・継業支援などを通じたつながりの醸成
- 各種マルシェなどでさらに醸し出されるつながり
- 多彩なつながりを意識的に
- 多様な生業、多業な生業への可能性

～ 穏豊 < オンポウ > 社会 ～

揖斐川流域地域循環共生圏に向けて



- 流域単位の循環型社会の再構築を
- 食・水・エネルギー・人のつながりの強化
- 同種の活動の連携
- セクターを超えての協働
- 二項対立ではない、多様な解の検討
- 身近なところ、日常から始める